# 政 治・経 済

(解答番号<u>1</u>~<u>34</u>)

**第1問** 次の文章を読み,下の問い(問1~10)に答えよ。(配点 28)

社会が発展する中で実現されるべき価値の一つに「平等」がある。これを評価の尺度にするなら、私たちの社会はどこまで望ましい姿に近づいたといえるだろうか。 国内外の近年の経験を振り返りながら、残された課題を考えてみよう。

まず、「ひとしく機会にあずかる」という意味で「平等」をみるなら、民主主義の普及は、政治参加の拡大という点で機会の平等が実現されていく経験であった。それまでの<u>③支配</u>に反対し民主化を求める運動が世界各地で起こり、日本でも政治参加を促す<u>⑥</u>法が整備された。だが先進国を中心に、ポピュリズムや政治的無関心が目立つようになったのも事実である。一度実現した参加の機会を、将来にわたって人々が十全に活用するにはどうすればよいか。これが第一の課題となる。

次に、「ひとしく結果を享受する」という意味で「平等」をみるなら、⑥資本主義経済の浸透は、格差の拡大や固定化という点で結果の平等のあり方を考える契機となった。貿易の自由化が促され、⑥市場の空間的範囲は拡大した。生産と⑥消費は国境を越え、世界全体で貿易額は大きく増加した。一方、発展途上国では約5人に1人が1日1.9ドル未満で生活する絶対的貧困の状況にある。また、経済のあり方が企業経営や人々の働き方に影響を与える中、国内では、正規労働者と非正規労働者との⑥質金の差がさらに認識されるようになった。経済や⑥労働において生じる格差が、社会の許容する程度を超えるとき、これをどう是正するか。これが第二の課題だといえる。

さらに、「平等」の推進自体も問われるようになった。 ① グローバル化が進み、世界と国と ① 地方とが密接に結びつく今日、「平等」が他の社会的価値と衝突する事態が起きている。たとえば、移民や ① 難民の受入れをめぐって、人権を重視して社会保障や雇用の上で自国民に近い扱いを求める声と、国や社会の安定を重視してそれを拒否する声とがあがる場合である。ある人々の唱える「平等」を他の人々が拒否するとき、相反する主張をいかに調和させるか。これが第三の課題になるだろう。

-72 - (2102–272)

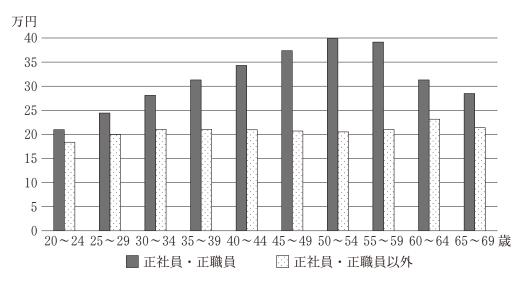
|  | 下線部@に関連して, 、<br>三つに分類した。この分<br>、。 1  |          | -             | _  |               |  |  |  |  |
|--|--|----------|---------------|----|---------------|--|--|--|--|
| 0<br>2<br>3<br>4   | カリスマ的支配<br>ポリス的支配<br>合法的支配<br>伝統的支配  |          |               |    |               |  |  |  |  |
| <b>問 2</b> 下線部 $\mathbb D$ に関連して、日本国憲法が定める法の制定について説明した次の記述 $\mathbf A \sim \mathbf C$ のうち、正しいものはどれか。当てはまる記述をすべて選び、その組合せとして最も適当なものを、下の $\mathbf O \sim \mathbf O$ のうちから一つ選べ。 $\mathbf O \sim \mathbf O$ |  |          |               |    |               |  |  |  |  |
|  | A 内閣は、憲法および法律の規定を実施するために、省令を制定することができる。  |          |               |    |               |  |  |  |  |
| В  |  | こ関う      | する手続について,規    | 則を | 制定することができ     |  |  |  |  |
| C  | る。<br>C 地方公共団体は、法律の範囲内で条例を制定することができる。  |          |               |    |               |  |  |  |  |
| 1  | A  | 2        | В             | 3  | С             |  |  |  |  |
| <b>4</b>   | $\mathbf{A} \succeq \mathbf{B}$ $\mathbf{A} \succeq \mathbf{B} \succeq \mathbf{C}$ | <b>⑤</b> | $A \succeq C$ | 6  | $B \succeq C$ |  |  |  |  |

| 問 | 3 | 下線部©に関  | ]連する学         | 兇を展開し         | たアダム | ・ス | ミスに関 | 目する記述 | として最も |
|---|---|---------|---------------|---------------|------|----|------|-------|-------|
|   | 遃 | 適当なものを, | 次の <b>①~(</b> | <b>4</b> のうちか | ら一つ選 | べ。 | 3    | ]     |       |

- ① 国内に富を蓄積するため保護貿易政策を行うことの必要性を説いた。
- ② 『経済学および課税の原理』を著し、貿易の自由化を重視した。
- ③ 財政政策や金融政策によって完全雇用が達成されることを説いた。
- 4 『国富論(諸国民の富)』を著し、市場の調整機能を重視した。
- **問 4** 下線部**②**の機能や限界についての説明として正しいものを、次の**①**~**④**のうちから一つ選べ。 **4** 

  - ② 生産技術の開発や生産の合理化によって生産費用が低下しても、価格が下 方に変化しにくくなることを、逆資産効果という。
  - ③ 鉄道のように、初期投資に巨額の費用がかかる大型設備を用いる産業では、少数の企業による市場の支配が生じにくい。
  - ④ 寡占市場で価格先導者が一定の利潤を確保できるような価格を設定し、他 の企業もそれに追随するような価格を、管理価格という。

- 問 5 下線部○ 下線部○ に関連して、消費者問題にかかわる日本の法制度の説明として正しいものを、次の① ~ ②② ~ ②○ 5○ 5
  - ① 特定商取引法の制定により、欠陥製品のために被害を受けた消費者が、損害賠償請求訴訟において製造業者の無過失責任を問えるようになった。
  - ② 消費者団体訴訟制度の導入により、国が認めた消費者団体が、被害を受けた消費者に代わって訴訟を起こせるようになった。
  - ③ 消費者庁の廃止により、消費者行政は製品や事業ごとに各省庁が所管する ことになった。
  - **④** リコール制度の改正により、製品の欠陥の有無を問わずその製品と消費者 の好みに応じた製品との交換が可能になった。

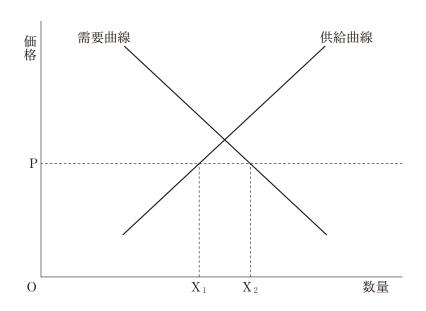


- (注) 2017年6月分の賃金である。雇用形態のうち、「正社員・正職員」とは、事業所が「正社員・正職員」とする者をいい、「正社員・正職員以外」とは、「正社員・正職員」に該当しない者をいう。
- (資料) 厚生労働省「平成29年賃金構造基本統計調査」(厚生労働省Webページ)により作成。
  - ① 年齢階級ごとに、「正社員・正職員」の賃金と「正社員・正職員以外」の賃金 との差を比べると、30~34歳における賃金の差額は、20~24歳における賃 金の差額を上回る。
  - ② 年齢階級ごとに、「正社員・正職員」の賃金と「正社員・正職員以外」の賃金とを比べると、すべての年齢階級において、「正社員・正職員」の賃金は「正社員・正職員以外」の賃金を上回る。
  - ③ 「正社員・正職員」の賃金をみると、賃金が最も高い年齢階級における賃金 は、20~24歳の賃金の3倍を下回る。
  - ④ 「正社員・正職員以外」の賃金をみると、賃金が最も高い年齢階級における 賃金は、20~24歳の賃金の3倍を上回る。

- **問 7** 下線部⑤について、民間の労働者に関する日本の法制度の説明として**誤っているもの**を、次の**①**∼**④**のうちから一つ選べ。 7
  - 労働組合への加入を理由とする解雇は、不当労働行為として禁止される。
  - ② 裁量労働制では、実際に働いた時間にかかわらず、あらかじめ定められた 時間だけ働いたとみなされる。
  - ③ 事業主は、職場におけるセクシュアル・ハラスメントを防止するために、 必要な措置を講じることが義務づけられている。
  - 4 法律に基づく最低賃金は、地域や産業を問わず同じ額とされている。

**問8** 下線部 $^{\circ}$ に関連して、次の図は、自由貿易の下で、ある商品の国際価格が P のときに、国内供給  $X_1$  と国内需要  $X_2$  との差だけ輸入されることを示している。ここで、他の事情を一定とした場合、当該商品の輸入量を増加させうる、輸入国に関係する要因として正しいものを、下の $^{\circ}$   $^{\circ}$ 

8



- ① 国際価格の上昇
- ② 国内産業の生産性の向上
- 3 国民の所得の増加
- 4 関税の引上げ

| 問 9 下線部①に関連して,地方? | 公共団体について | この次の  | 記述A~C | このうち, | 正し |
|-------------------|----------|-------|-------|-------|----|
| いものはどれか。当てはまる話    | 記述をすべて選び | バ, その | 組合せとし | て最も適  | 当な |
| ものを,下の①~⑦のうちかり    | う一つ選べ。   | 9     |       |       |    |

- A 地方公共団体の選挙管理委員会は、国政選挙の事務を行うことはない。
- B 都道府県の監査委員は、公正取引委員会に所属している。
- C 地方公共団体の義務教育の経費に、国庫支出金が使われる。
- (1) A

② B

3 C

- (4) A ≥ B
- ⑤ A ≥ C
- 6 B ≥ C

(7) A & B & C

**問10** 下線部①に関連して、難民受入れをめぐる記述として**誤っているもの**を、次の**①**~**②**のうちから一つ選べ。 10

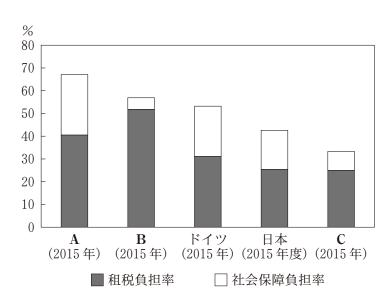
- ① 日本は、難民条約の採択された年にこの条約に加入した。
- ② 日本は、出入国管理及び難民認定法に基づいて難民を受け入れている。
- ③ 第三国定住は、難民を最初の受入国から別の国に送り、そこで定住を認める仕組みである。
- ④ 国内避難民は、紛争などから逃れつつも国境を越えていない人々であり、 難民条約上の保護対象に含まれない。

### **第2問** 次の会話文を読み、下の問い(問1~8)に答えよ。(配点 24)

- 学生A:今日はゼミで「私たちの生活を支える主体や仕組み」をテーマとして取り上げることを決めたけど、これからおもしろくなりそうだね。
- 学生B: うん, 先生は国の役割の重要性を指摘していたね。でも, 働いて, 貯金して, っていうふうに個人の努力で生計をたてるのが自然だと思うな。
- 学生A:そうかな。個人の努力とは無関係に生活が不安定になることもあるし、すべて自己責任で対応することは難しいよ。だからこそ、国の役割が必要になるんじゃないかな。<a>(a) 憲法</u>にも生存の権利についての規定があるしね。</a>
- 学生A:介護保険制度は、被保険者の権利として利用できるのだから、家族のサポートを期待できる場合も、それを優先する義務はないよ。
- 学生 $\mathbf{B}$ : でも、現在の介護保険制度にも問題があるよね。高齢化が進めば、担い手不足や $_{\bigcirc}$ 財源の問題は、いま以上に深刻になるんじゃないかな。
- 学生A:その場合,待遇改善や<br/>
  ② <u>外国人</u>の受入れなどによる介護士の増員とか,<br/>
  ② <u>税</u>や社会保険料の引上げによる財源確保とか,検討する事柄は多い<br/>
  ね。
- 学生 $\mathbf{B}$ :特に財源については、家計や企業の負担の増加が $_{\scriptsize{\textcircled{f}}}$ 経済活動に与える影響や、国の歳入規模を左右する $_{\scriptsize{\textcircled{g}}}$ 景気の動向なども考えないとね。
- 学生A: 想像以上に難しい問題だな。そういえば、ゼミで先生は、地域社会の役割 についても触れていたよね。ただ、地域社会での協力といっても、近所の 人と話すことさえないから、イメージしにくいな。
- 学生B: たしかに。でも、人と人との結びつきを育み、それを福祉にいかそうという試みが各地で行われていると聞くよ。それに、①地域の住民の声を政治に反映させるような仕組みも整えられてきているみたいだね。
- 学生A: なるほどね。個人の努力、国の役割どちらか一つに固執するんじゃなくて、地域社会での協力も含めて、バランスのよい組合せを考えることが大事な気がしてきたな。よし、意見をまとめて、来週、ゼミで議論しよう!

- 問 1 下線部②について、日本国憲法の改正に関する記述として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。11
  - ① 衆参各議院は、それぞれの総議員の3分の2以上の賛成が得られた場合、 単独で憲法改正を発議し、国民投票にかけることができる。
  - ② 日本国憲法の改正に関する国民投票は、特別の国民投票、または国会の定める選挙の際に行われる国民投票のいずれかによる。
  - ③ 国会法の改正によって、満 18 歳以上の国民が、日本国憲法の改正に関する国民投票権を有することになった。
  - ④ 日本国憲法の改正は、最終的に、内閣総理大臣によって国民の名で公布される。
- - ア 最高裁判所は、薬局開設の許可基準として距離制限を設けることは、合理 的な規制とは認められず、違憲であると判断した。
  - イ 最高裁判所は、児童扶養手当と公的年金の併給を禁止する児童扶養手当法 の規定は、国会の立法裁量の範囲を超え、違憲であると判断した。
  - ① ア 正 イ 正
  - ② ア 正 イ 誤
  - ③ ア 誤 イ 正
  - ④ ア 誤 イ 誤

問3 下線部©に関連して、次の図は、北欧型の社会保障制度に分類されるスウェーデン、大陸型の社会保障制度に分類されるドイツとフランス、そのほかに日本とアメリカという、5か国の租税負担率と社会保障負担率を比較したものである。図中のA~Cに当てはまる国名の組合せとして正しいものを、下の ↑~⑥のうちから一つ選べ。 13



- (注) 租税負担率とは、租税負担額の対国民所得比であり、社会保障負担率とは、社会保障負担額の対国民所得比である。
- (資料) 財務省「国民負担率の国際比較(OECD 加盟 35 カ国)」(財務省 Web ページ)により作成。
- ① A アメリカ B スウェーデン C フランス
   ② A アメリカ B フランス C スウェーデン
   ③ A スウェーデン B アメリカ C フランス
- $egin{array}{lll} egin{array}{lll} \mathbf{A} & \mathsf{X} \dot{\mathsf{D}} \mathsf{x} \ddot{\mathsf{x}} & \mathbf{B} & \mathsf{T} \dot{\mathsf{D}} \mathsf{x} & \mathbf{C} & \mathsf{T} \mathsf{x} \mathsf{J} \mathsf{D} \end{array}$
- $lackbox{0} \quad \mathbf{A} \quad 
  abla eta \quad \mathbf{B} \quad \mathbf{P}$   $\mathbf{A}$   $\mathbf{C} \quad \mathbf{C}$   $\mathbf{C}$   $\mathbf{C}$   $\mathbf{C}$

| 問 | 4 | 下線部   | ①に関連す | る日本の理         | 見在の状況に | こついて | の次   | の記述 | $A \sim C$ | のうち, | 正       |
|---|---|-------|-------|---------------|--------|------|------|-----|------------|------|---------|
|   |   | しいものに | はどれか。 | 当てはまる         | る記述をすべ | くて選び | バ, そ | の組合 | せとし、       | て最も通 | <b></b> |
|   | Ž | なものを, | 下の①~  | <b>⑦</b> のうちだ | いら一つ選ん | ್. 1 | 14   |     |            |      |         |

- A 外国人も、中央省庁の行政文書に関して、情報公開法に基づいて開示を請求することができる。
- B 最高裁判所は、永住資格を有する在日外国人には、地方参政権が憲法上保 障されていると判断した。
- C 地方公務員採用試験に関して、日本国籍を受験条件としない地方公共団体 もある。

| (1) | A |
|-----|---|
|     |   |

2 B

3 C

(4) A ≥ B

⑤ A ≥ C

6 B ≥ C

(7) A & B & C

- 問 5 下線部@に関連して、租税の原則に関する次の用語 $A \sim C$ と、その内容 $P \sim D$ との組合せとして最も適当なものを、下の $O \sim D$ のうちから一つ選べ。
  - 15
  - $\mathbf{A}$  中立
  - B 垂直的公平
  - C 簡素
  - ア 租税の負担能力に応じて負担することが望ましいとする考え方
  - イ 課税によって経済活動を極力妨げないことが望ましいとする考え方
  - **ウ** 納税の手続がわかりやすく、徴税の経費が小さいことが望ましいとする考 え方

  - ② A-ア B-ウ C-イ
  - ③ A-イ B-ア C-ウ
  - ④ A − イ B − ウ C − ア
  - ⑤ A − ウ B − ア C − イ
  - ⑥ A − ウ B − イ C − ア

| 項目         | 額(兆円) |
|------------|-------|
| 民間最終消費支出   | 300   |
| 政府最終消費支出   | 106   |
| 総資本形成      | 127   |
| 財貨・サービスの輸出 | 89    |
| 財貨・サービスの輸入 | 83    |
| 海外からの所得    | 28    |
| 海外に対する所得   | 11    |
| 国民総支出      | 556   |

<sup>(</sup>注) 表中の数値は名目値で、小数点以下を四捨五入してある。 (資料) 内閣府『平成28年度 国民経済計算年報』により作成。

- **ア** GNP(国民総生産)の額は556 兆円である。
- イ GDP(国内総生産)の額は GNP の額より小さい。
- ① ア 正 イ 正
- ② ア 正 イ 誤
- ③ ア 誤 イ 正
- 4) ア 誤 イ 誤

- 問7 下線部⑤に関連して、景気循環の類型とそれが起こる主な要因についての記述として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。□ 17
  - ① クズネッツの波は、技術革新を主な要因として起こるとされる景気循環である。
  - ② コンドラチェフの波は、在庫投資の変動を主な要因として起こるとされる 景気循環である。
  - ③ キチンの波は、建設投資の変動を主な要因として起こるとされる景気循環である。
  - **④** ジュグラーの波は、設備投資の変動を主な要因として起こるとされる景気 循環である。

| 問 | 8 | 下 | 線部  | かに  | 関連して | こ、日本の位 | 住民投票 | 制度に、              | ついて述っ | べた, | 次のプ | 文章中( | り空 |
|---|---|---|-----|-----|------|--------|------|-------------------|-------|-----|-----|------|----|
|   | 欄 |   | ア   | ] . | イ    | に当ては   | まる語句 | Jの組合 <sup>、</sup> | せとしては | 最も適 | 当なも | らのを, | 下  |
|   | の | 1 | ~40 | のう  | ちからー | つ選べ。   | 18   |                   |       |     |     |      |    |

日本国憲法は、地方自治特別法の制定に関する住民投票を規定している(第95条)。また、この憲法上の住民投票とは別に、1990年代以降、原子力発電所や産業廃棄物処理施設の受入れなど、特定の施策の是非をめぐり、条例による住民投票が各地で行われている。こうした憲法上の住民投票や条例による住民投票のように、投票によって民意を政治に反映させる制度は ア と呼称されることがある。

条例による住民投票は、近年、住民意思を地方政治に直接反映し間接民主制を補完するものとして評価されており、地方公共団体の中には条例による住民投票を常設化する動きがみられる。また、定住外国人や一定年齢以上の未成年者に投票権を認める地方公共団体もある。これまでに行われた条例による住民投票は、投票結果に法的な拘束力が イ 点で、憲法上の住民投票とは異なる。

- (1)  $\mathbf{r}$  レファレンダム  $\mathbf{r}$  認められている
- (2)  $\mathbf{7}$  レファレンダム  $\mathbf{7}$  認められていない
- ③ ア イニシアティブ イ 認められている
- $\mathbf{Q}$   $\mathbf{P}$  イニシアティブ  $\mathbf{P}$  認められていない

## 第3問 次の文章を読み、下の問い(問1~8)に答えよ。(配点 24)

私たちが生まれ、生活し、経済を営む場所は地球である。アメリカの経済学者ボールディングなどが提起した「宇宙船地球号」という考え方は、地球の住人すべてが、有限な<u>②地球環境</u>と天然資源を共有していることを強調するものであった。以下では、この視点を意識しつつ、今日の世界経済をとらえていこう。

今日の世界経済で注目すべき事柄の一つは、かつて $_{\bigcirc}$ 発展途上国と呼ばれ、中国やインドを代表格に新興国とも呼称されるようになった国々の経済成長である。世界の名目 GDP における発展途上国と新興国のシェアは、1980 年には約2割だったが、2010 年代後半には約4割へと増加している。こうした変化の一因としては、 $_{\bigcirc}$ 国際貿易の拡大があげられる。たとえば、中国では $_{\bigcirc}$ WTO(世界貿易機関)への加入後に輸出が急増し、経済成長を牽引した。また、中国の $_{\bigcirc}$ 企業が先進国企業を買収するケースがあるなど、新興国企業の国際的な存在感も高まっている。

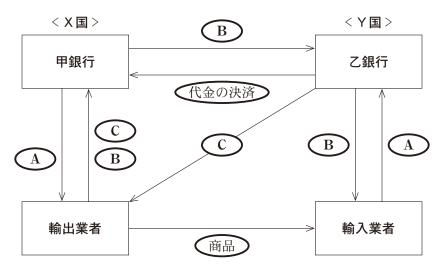
新興国における経済成長に伴う所得の向上と、先進国型へのライフスタイルの変化は、地球環境への負荷を高める要因となる。たとえば、新興国での自動車利用の拡大は、二酸化炭素など①温室効果ガスの排出量を増加させうる。ほかにも、世界的な食肉の消費量増加は、家畜自体だけでなく、その飼料となる②農作物の生産も拡大させうる。結果として、強い温室効果を有するメタンガスの排出増加や、熱帯雨林の過剰伐採など森林資源の劣化につながっているとの指摘もある。そのため、①開発援助の対象にも、産業基盤整備のような伝統的課題を越えて、発展途上国と新興国に対する環境保全技術の支援などへの広がりがみられる。

21世紀に入り、「宇宙船地球号」の考え方が提起されたころよりも、地球環境への負荷が高まっている。地球という惑星に暮らす私たち人類の生存可能性を高めるためには、環境への配慮を経済の基本原則として明確に位置づけ、政府、企業、個人の行動パターンを早急に環境保全型へと転換していく必要がある。

- 問 1 下線部@は、非競合性と非排除性という性質をもつ公共財に分類されることがある。公共財の性質の一つである非排除性についての記述として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 19

  - ② 価格が上がっても、需要量はあまり低下しない。
  - ③ だれも利用を制限されない。
  - 4 供給量が不足しても、価格が変化しない。
- **問 2** 下線部<sup>①</sup>の経済に関連する記述として**誤っているもの**を、次の**①**~**④**のうちから一つ選べ。 **20** 
  - ① プレビッシュ報告では、南北問題を解決するために、アンチダンピング関税の導入が主張された。
  - ② 発展途上国の中でも最も経済発展が遅れた国は、後発発展途上国(LDC) と呼ばれる。
  - ③ 持続可能な開発目標(SDGs)では、貧困や飢餓の撲滅に加えてジェンダー 平等の実現などの達成すべき目標が設定された。
  - ④ 発展途上国の中には、貧困層の自助努力を支援するために、マイクロファイナンスという低所得者向けの少額融資が実施されている国もある。

**問 3** 下線部 $^{\circ}$ の決済手段として、為替がある。二国間貿易の為替による決済の仕組みを説明した次の $^{\circ}$ 中の $^{\circ}$ 中の $^{\circ}$ やでと、その内容についての下の記述 $^{\circ}$ でかとの組合せとして正しいものを、下の $^{\circ}$ でのうちから一つ選べ。 21



- (注) 代金の決済は、複数の為替取引の相殺を活用して行われる。 C は、輸出業者の依頼によって乙銀行から甲銀行に送られる場合がある。
- ア 支払いを確約する信用状(L/C)
- イ 為替手形・船積み書類
- ウ 自国通貨
- ② A-ア B-ウ C-イ
- ③ A-イ B-ア C-ウ
- ④ A − イ B − ウ C − ア
- ⑤ A − ウ B − ア C − イ
- ⑥ A − ウ B − イ C − ア

- **問 4** 下線部**(**)についての記述として正しいものを、次の**(**)~**(**)~**(**)のうちから一つ選べ。 **(22)** 
  - ① GATT(関税及び貿易に関する一般協定)の基本原則の中には、最恵国待遇 原則があったが、この原則はWTOには引き継がれていない。
  - ② GATT のウルグアイ・ラウンドでは、知的財産権の国際的保護に関する ルールについて交渉されたが、このルールは WTO で採用されていない。
  - ③ WTO の紛争処理手続においては、加盟国が一国でも反対すれば、協定違 反の有無に関する裁定は採択されない。
  - ④ WTO のドーハ・ラウンドは、農産物の輸出国と輸入国との間の利害対立 もあり、交渉全体の妥結には至っていない。

問 5 下線部@について、次の表は日本とアメリカにおいて、企業がどのようにして資金調達を行ったのかを示したものである。この表から読みとれる内容として最も適当なものを、下の①~④のうちから一つ選べ。 23 23

(単位:%)

|      |           | 銀行等借入 | 債 券  | 株式・出資金 |
|------|-----------|-------|------|--------|
| 日本   | 1999年12月末 | 38.8  | 9.3  | 33.8   |
| 口华   | 2017年3月末  | 24. 2 | 4. 1 | 49.9   |
| マノリカ | 1999年12月末 | 12. 1 | 8. 2 | 66.6   |
| アメリカ | 2017年3月末  | 6. 2  | 13.7 | 56.5   |

- (注) ここでの企業とは民間非金融法人企業のことである。なお、「その他」の数値を 省略していることから、どの年も合計が100パーセントにならない。
- (資料) 日本銀行調査統計局「欧米主要国の資金循環統計」および同「資金循環の日米欧 比較」(両資料とも日本銀行 Web ページ)により作成。
- ① 日本の企業における資金調達のあり方を 1999 年 12 月末時点と 2017 年 3 月末時点とで比較した場合, 2017 年の方が他人資本の割合が高い。
- ② アメリカの企業における資金調達のあり方を 1999 年 12 月末時点と 2017 年 3 月末時点とで比較した場合, 2017 年の方が間接金融の割合が低い。
- ③ 2017年3月末時点の資金調達において、日本の企業はアメリカの企業よりも直接金融の割合が高い。
- ④ 1999 年 12 月末時点の資金調達において、アメリカの企業は日本の企業よりも自己資本の割合が低い。

| 問 | 6 | 下線部①の削減に関連する国内外の制度を説                                | 明した | と次の記述 A~Cのうち | , |
|---|---|---|-----|--------------|---|
|   | I | Eしいものはどれか。当てはまる記述をすべて                               | 選び, | その組合せとして最も   | 適 |
|   | 큐 | 当なものを,下の $oldsymbol{0}$ ~ $oldsymbol{0}$ のうちから一つ選べ。 | 24  |              |   |

- A 気候変動枠組条約の京都議定書では、締約国間における温室効果ガスの排 出量の売買を禁止していた。
- B 日本では、福島第一原発事故後に施行された再生可能エネルギー特別措置 法によって、再生可能エネルギーから作られた電力の固定価格買取制度が開 始された。
- C 気候変動枠組条約のパリ協定では、すべての締約国が温室効果ガスの自主 的な削減目標を提出し、目標の達成に向けて取り組むことが定められた。

| 1 | $\mathbf{A}$  | 2 | В             | 3 | C     |
|---|---------------|---|---------------|---|-------|
| 4 | $A \succeq B$ | 6 | $A \succeq C$ | 6 | B ≥ C |
| 7 | A & B & C     |   |               |   |       |

- **問 7** 下線部⑧に関連して、日本における農業や食品に関する出来事についての記述として最も適当なものを、次の $\mathbf{0}$ ~ $\mathbf{0}$ のうちから一つ選べ。 **25** 
  - ① 第二次世界大戦後、農地法が制定され、寄生地主制が復活した。
  - ② 農業基本法は、兼業化の促進による農業従事者の所得の増大をめざした。
  - ③ 高度経済成長期の後、地域の伝統的な食文化を見直し守っていくために、 新食糧法が施行された。
  - ② 食品の偽装表示などの事件をうけて、食の安全を確保するために、食品安全基本法が制定された。

| 国 名  | ODA の実績総額<br>(億ドル) | ODA の対国民総所得<br>(GNI)比(%) | <b>A</b> (%) |  |  |
|------|--------------------|--------------------------|--------------|--|--|
| В    | 344.1              | 100.0                    |              |  |  |
| С    | 247.4              | 0.70                     | 88.4         |  |  |
| イギリス | 180.5              | 0.70                     | 98.3         |  |  |
| D    | 104. 2             | 0.20                     | 87.0         |  |  |
| フランス | 96. 2              | 0.38                     | 81.4         |  |  |

<sup>(</sup>注) すべて2016年の支出純額ベースの数値である。

<sup>(</sup>資料) 外務省『開発協力白書』(2017年版)(外務省Webページ)により作成。

| 1        | A            | グラント・エレメント | В | ドイツ  | C | 日 本  | D | アメリカ |
|----------|--------------|------------|---|------|---|------|---|------|
| 2        | A            | グラント・エレメント | В | 日 本  | C | アメリカ | D | ドイツ  |
| 3        | A            | グラント・エレメント | В | アメリカ | C | ドイツ  | D | 日 本  |
| 4        | A            | 贈与比率       | В | ドイツ  | C | 日 本  | D | アメリカ |
| <b>⑤</b> | A            | 贈与比率       | В | 日 本  | C | アメリカ | D | ドイツ  |
| 6        | $\mathbf{A}$ | 贈与比率       | В | アメリカ | C | ドイツ  | D | 日 本  |

# 第4問 次の文章を読み、下の問い(問1~8)に答えよ。(配点 24)

民主主義という言葉の意味するところは多義的であるが、現代の民主主義国家の多くは自由民主主義と呼ばれる体制をとっている。その起源は市民革命を経て成立した近代民主主義にあり、国家権力が国民の自由と権利を侵害しないことを要請する自由主義と、国民の意思に従って政治を行うことを要請する民主主義とが結合した体制である。

自由民主主義の国々は通常、次のような考え方や制度を採用している。第一に、国家権力の恣意的な行使を防ぎ国民の自由と権利を保障するため、<u>② 法の支配と</u> <u>⑥ 権力分立</u>の考え方をとっている。第二に、<u>⑥ 選挙</u>によって選ばれた代表が<u>③ 議会</u>で討論を行って政治的意思を決定する間接民主制(議会制民主主義)をとっている。第三に、競争的な選挙の下での複数政党制をとっている。

ただし、こうした考え方や制度がすんなりと定着してきたわけでは決してない。 たとえば、第一次世界大戦後のドイツでは、経済的混乱の中でナチスが<sub>②</sub>大衆の 支持を受けて台頭し、二度の選挙で繰り返し第一党となり、政権に就いた。 ① ナ チス政権は選挙の結果として成立したが、権力分立制や複数政党制を否定する政策 をとり、人々の自由と権利を著しく侵害するに至った。

自由民主主義においては、政治参加の権利だけでなく、さまざまな政治的意見に対する寛容と、それを表明する自由が保障されていることも不可欠である。しかし今日においてもなお、国民の多数派の支持を背景に少数者の権利を侵害、抑圧するような政治が出現する危険性は、過去のものとなっていない。 ②国家権力を監視し、その濫用を防止することは、 ①自由民主主義の維持にとって不断の課題である。

| 問 | 1 | 下線部②に関連して  | て,次の | 文章中の空欄 | ア    | •  | イ    | に当てはまる言            |
|---|---|------------|------|--------|------|----|------|--------------------|
|   |   | 葉を下の記述A~Cz | から選び | 、その組合せ | として正 | EU | いものを | e, 下の <b>①~⑥</b> の |
|   |   | うちから一つ選べ。  | 27   |        |      |    |      |                    |

イギリスでは中世のマグナ・カルタ(大憲章)において、すでに法の支配の萌芽がみられた。近世の絶対君主制の下でそれは危機に瀕したが、17世紀初頭にイギリスの裁判官エドワード・コーク(クック)は、13世紀の法律家ブラクトンの言葉をひいて ア と述べ、法の支配を主張した。

絶対君主制への批判は、国王の権力を制限しようとする社会契約論や立憲主義思想へとつながっていく。こうした考え方は、17世紀から18世紀にかけて近代市民革命へと結実し、フランス人権宣言に イ と謳われた。

- A 「あらゆる政治的結合の目的は、人の、時効によって消滅することのない 自然的な諸権利の保全にある」
- B 「経済生活の秩序は、すべての人に、人たるに値する生存を保障すること をめざす正義の諸原則に適合するものでなければならない
- C 「王は何人の下にも立つことはない。しかし、神と法の下には立たなければならない」
- $(1) \quad \mathcal{T} \mathbf{A} \qquad \mathbf{1} \mathbf{B}$
- ② アーA イーC
- ④ アーB イーC
- ⑤ アーC イーA
- ⑥ アーC イーB

- 問2 下線部®に関連して、日本国憲法は、司法機関たる裁判所に、立法機関や行政機関に対するチェック機能として違憲審査権を与えている。この権限について、裁判所はこれを積極的に行使し、違憲判断をためらうべきではないとする見解と、その行使には慎重さが求められ、やむをえない場合のほかは違憲判断を避けるべきであるとする見解とが存在する。前者の見解の根拠となる考え方として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 28
  - ① 法律制定の背景となる社会や経済の問題は複雑であるから、国政調査権を もち、多くの情報を得ることができる機関の判断を尊重するべきである。
  - ② 選挙によって構成員が選出される機関では、国民の多数派の考えが通りやすいので、多数派の考えに反してでも少数者の権利を確保するべきである。
  - ③ 外交など高度な政治的判断が必要とされる事項や、国政の重要事項についての決定は、国民に対して政治的な責任を負う機関が行うべきである。
  - ④ 日本国憲法は民主主義を原則としているので、国民の代表者によって構成 される機関の判断を、できる限り尊重するべきである。
- **問3** 下線部©について、小選挙区制と比例代表制とを比較した場合、それぞれの 選挙制度の一般的な特徴に関する記述として最も適当なものを、次の①~**④**の うちから一つ選べ。 **29** 
  - ① 小選挙区制は、死票が少なくなりやすい制度といわれる。
  - ② 小選挙区制は、多党制になりやすい制度といわれる。
  - ③ 比例代表制は、政党中心ではなく候補者中心の選挙となりやすい制度といわれる。
  - 4 比例代表制は、有権者の中の少数派の意見も反映されやすい制度といわれる。

- - ① アメリカでは、国民の直接選挙によって選出される上院が置かれ、条約締結についての承認権(同意権)など、重要な権限が付与されている。
  - ② イギリスでは、非民選の議員からなる貴族院が置かれ、最高裁判所の機能も果たしてきたが、現在ではその機能を喪失している。
  - ③ 日本では、国民の直接選挙によって選出される参議院が置かれ、戦前の貴族院と異なり解散が認められるなど、民主化が図られている。
  - ④ フランスでは、任期6年の上院が置かれ、上院議員選挙人団による間接選挙で議員が選出される。
- - ① 財産や身分あるいは政治的知識の有無などによる制限なしに、政治参加の 権利が保障されるような民主主義政治
  - ② 資本家階級が主体となって、封建制や絶対君主制を否定する革命を進める ような民主主義政治
  - ③ 労働者階級の指導の下に農民や中小企業家が連合し、資本主義経済を打倒 する革命を進めるような民主主義政治
  - ④ 労働者を代表する政党の指導の下で、人民を代表する合議体に権力が集中 されるような民主主義政治

- **問 6** 下線部**①**についての説明として最も適当なものを、次の**①**~**④**のうちから一つ選べ。 **32** 
  - ① この政権は、諸民族の平等を実現した。
  - ② この政権は、ワイマール憲法の下で成立した。
  - ③ この政権は、全権委任法により行政権を立法府に委譲した。
  - 4 この政権は、プロパガンダ(宣伝)を用いずに台頭した。
- **問 7** 下線部®に関連して、日本において、裁判や刑事手続にかかわる権力を監視、統制する仕組みについての記述として**誤っているもの**を、次の**①**∼**②**のうちから一つ選べ。 33
  - ① 検察官が不起訴の決定をした事件について、検察審査会が起訴相当の議決 を二度行った場合は強制的に起訴される仕組みが導入された。
  - ② 国民審査により最高裁判所の裁判官が罷免された例は、これまでにない。
  - ③ 取調べの録音や録画を義務づける仕組みが、裁判員裁判対象事件などに導入された。
  - ④ 死刑判決を受けた人が再審により無罪とされた例は、これまでにない。

- 問8 下線部⊕に関連して、国民の自由や権利をめぐる日本の状況についての記述 として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 34
  - の党を結成することは、政党助成法により認められている。
  - ② インターネット上で友人と自由に政治的な意見を交わし合うことは、アクセス権として保障されている。
  - ③ 被選挙権は、国民が政治に参加するための権利の一つとされている。
  - 報道については、デマやフェイクニュースへの対策として行政機関による 検閲が認められている。

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。 ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。